

令和4年度進捗評価シート
伊賀市歴史的風致維持向上計画（平成28年5月19日認定）
（最終変更令和5年3月30日）

□進捗評価シート(様式1)

- ①組織体制(様式1-1)
 - 1「伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議」、「伊賀市歴史的風致維持向上協議会」の設置1~3

- ②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式1-2)
 - 1 伊賀市の景観計画との連携4

- ③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式1-3)
 - 1 史跡上野城跡保存整備事業5
 - 2 史跡旧崇広堂保存整備事業6
 - 3 俳聖殿等消防施設整備事業7
 - 4 観菩提寺本堂・楼門防災施設等整備事業8
 - 5 春日神社拝殿解体修理事業9
 - 6 観菩提寺楼門二天立像保存修理事業10
 - 7 史跡及び名勝菘虫庵保存修理事業11
 - 8 登録有形文化財建造物美観向上事業12
 - 9 ヘリテージマネージャー活動支援事業13・14
 - 10 伊賀流空き家バンク事業15
 - 11 松生家活用事業16
 - 12 まち巡り拠点施設整備事業(成瀬平馬家長屋門活用事業)17
 - 13 修景助成事業18
 - 14 芭蕉翁生家施設改修整備事業19
 - 15 古民家等再生活用事業20
 - 16 ポケットパーク整備事業21
 - 17 道路美装化事業(上野城下町区域)22
 - 18 上野公園園路整備事業23
 - 19 上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等事業(保存)24
 - 20 上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等事業(活用)25
 - 21 大村神社例大祭 民俗文化財伝承・活用等事業26
 - 22 初瀬街道まつりイベント支援事業27
 - 23 文化財説明看板設置事業28
 - 24 宿場・街道案内板等設置整備事業29

- ④文化財の保存又は活用に関する事項(様式1-4)
 - 1 文化財調査の調査・研究及び条例に基づく指定の推進30・31
 - 2 文化財の保護事業の推進32
 - 3 文化財の保存・活用の普及・啓発33
 - 4 埋蔵文化財の保護34

- ⑤効果・影響等に関する報道(様式1-5)
 - 令和4年4月~令和5年3月35

- ⑥その他(効果等)(様式1-6)
 - 1 歴史まちづくりの効果36・37

□法定協議会等におけるコメントシート(様式2)38

評価軸①-1
組織体制

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
「伊賀市歴史的風致維持向上協議会」、「伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議」、「伊賀市歴史的風致維持向上計画推進庁内会議」の設置		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
計画に記載している内容	・「伊賀市歴史的風致維持向上協議会」:伊賀市歴史的風致維持向上計画の作成及び変更に関する協議ならびに計画の円滑な実施に係る連絡調整を行い、歴史的風致の維持又は向上に資する取り組みや、計画の推進状況の報告・評価に関すること等を所掌するため、歴史まちづくり法第11条に基づく「伊賀市歴史的風致維持向上協議会」を平成26年(2014)11月1日に設置した。 ・「伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議」:本計画の策定に向けて、必要な事項を検討し、計画の策定及び計画による実施事業を一体的かつ円滑に推進することを目的に、平成26年9月1日に「伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議」を設置し、庁内の連絡調整、計画の進行管理、計画の変更など本計画による事業の推進に必要な調整を行った。		
	・「伊賀市歴史的風致維持向上推進庁内会議」:本計画の推進体制については、まちづくり部局である建設部・産業振興部と、文化財の保護部局である教育委員会を計画推進の事務局とし、庁内の関係各課で組織される。計画推進のための庁内の連絡・調整の組織として位置づけた。また、国・県の関係機関との必要な協議を行い、相談や適切な支援を得る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度:	「伊賀市歴史的風致維持向上計画策定庁内検討会議」「伊賀市歴史的風致維持向上協議会」を平成26年に設置し、平成28年の認定後もこの組織体制を維持している。平成28年度は、計画変更(第1回)を申請し、認定を受けた。		
平成29年度:	当初計画した事業を進めたが、新規事業の検討等に着手できなかったため、伊賀市歴史的風致維持向上協議会を開催することができなかったが、次年度以降は、新規事業の検討に着手し、計画の改訂について取り組みたい。		
平成30年度:	第7回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催、第1回伊賀市歴史的風致維持向上計画推進庁内検討会議、第8回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催、組織改編により関係部局は25課となった。		
令和元年度:	第9回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催、第2回伊賀市歴史的風致維持向上計画推進庁内検討会議、第10回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催、組織改編により24課1室となった。		
令和2年度:	第11回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催、第3回伊賀市歴史的風致維持向上計画推進庁内検討会議開催、第12回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催、『中間評価(暫定版)』審議・パブリックコメント実施、組織は24課1室である。		
令和3年度:	第13回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催、伊賀市歴史的風致維持向上計画推進庁内検討会議開催(第4回)、第14回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催、組織は24課1室。		
令和4年度:	第15回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催、伊賀市歴史的風致維持向上計画推進庁内検討会議開催(第5回)、第16回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催、組織は、18課、5支所、1室。		
実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)			
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	進捗状況の報告及び新規事業の検討にかかる「伊賀市歴史的風致維持向上協議会」、「伊賀市歴史的風致維持向上計画推進庁内検討会議」について、定期的な開催を行う。		

状況を示す写真や資料等

「伊賀市歴史的風致維持向上推進庁内検討会議」の推移

計画認定時(平成28年度)

総務部	伊賀市消防本部
総務課	消防総務課
企画振興部	水道部
総合政策課	水道総務課
文化交流課	
財務部	伊賀支所
財務課	伊賀支所振興課
産業振興部	阿山支所
農林振興課	阿山支所振興課
農村整備課	大山田支所
商工労働課	大山田支所振興課
観光戦略課	島ヶ原支所
中心市街地推進課	島ヶ原支所振興課
建設部	青山支所
建設1課	青山支所振興課
建設2課	教育委員会事務局
都市計画課	文化財課
下水道課	
建築住宅課	
公共基盤推進課	

平成28年度
平成28年5月19日
伊賀市歴史的風致維持向上計画認定
平成28年5月20日
伊賀市議会議員全員協議会で計画認定を報告
平成28年9月7日
島ヶ原地区まちづくり協議会へ計画内容説明
平成28年10月18日
第4回中部歴まちサミット参加
平成29年3月22日
第6回伊賀市歴史的風致維持向上協議会
平成29年3月31日
平成28年度計画変更認定

状況を示す写真や資料等

平成29年度
 総務部
 総務課
 企画振興部
 総合政策課
 文化交流課
 財務部
 財務課
 産業振興部
 農林振興課
 農村整備課
 商工労働課
 観光戦略課
 中心市街地推進課
 公共基盤推進課

建設部
 建設1課
 建設2課
 都市計画課
 建築住宅課
 伊賀市消防本部
 消防総務課
 上下水道部
 水道総務課
 伊賀支所
 伊賀支所振興課

阿山支所
 阿山支所振興課
 大山田支所
 大山田支所振興課
 島ヶ原支所
 島ヶ原支所振興課
 青山支所
 青山支所振興課
 教育委員会事務局
 文化財課

平成29年度
 平成29年10月18・19日
 第5回中部歴まちサミット参加
 平成29年11月30日
 上野城下町区域における
 地元との意見交換
 平成30年2月20日
 庁内ワーキンググループ会議

平成30年度
 総務部
 総務課
 企画振興部
 総合政策課
 文化交流課
 財務部
 財務課
 人権生活環境部
 市民生活課
 産業振興部
 農林振興課
 農村整備課
 商工労働課
 観光戦略課
 中心市街地推進課

建設部
 都市計画課
 道路河川課
 企画管理課
 企業用地整備課
 建築課
 住宅課
 伊賀市消防本部
 消防総務課
 上下水道部
 水道工務課
 下水道課

伊賀支所
 伊賀支所振興課
 阿山支所
 阿山支所振興課
 大山田支所
 大山田支所振興課
 島ヶ原支所
 島ヶ原支所振興課
 青山支所
 青山支所振興課
 教育委員会事務局
 文化財課

平成30年度
 平成30年4月25日
 国土交通省中部地方整備局「歴まち現地視察」
 平成30年5月25日
 第7回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催
 平成30年10月16・17日
 第6回中部歴まちサミット参加
 平成31年1月23日
 第1回伊賀市歴史的風致維持向上計画推進庁内検討会議
 平成31年2月19日
 第8回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催
 平成31年3月29日
 平成30年度計画変更認定

令和元年度
 総務部
 総務課
 企画振興部
 総合政策課
 文化交流課
 財務部
 財務課
 人権生活環境部
 市民生活課
 空き家対策室
 産業振興部
 農林振興課
 農村整備課
 商工労働課
 観光戦略課
 中心市街地推進課
 建設部
 都市計画課
 道路河川課
 企画管理課
 企業用地整備課
 建築課
 住宅課
 伊賀市消防本部
 消防総務課

上下水道部
 水道工務課
 下水道課
 伊賀支所
 伊賀支所振興課
 阿山支所
 阿山支所振興課
 大山田支所
 大山田支所振興課
 島ヶ原支所
 島ヶ原支所振興課
 青山支所
 青山支所振興課
 教育委員会事務局
 文化財課

令和元年度
 令和元年5月23日
 第9回伊賀市歴史的風致維持向上協議会開催
 令和元年5月31日
 平成30年度進捗管理シート提出
 令和元年10月30・31日
 第7回中部歴史まちづくりサミット(美濃市)
 令和元年11月25日
 第2回伊賀市歴史的風致維持向上計画推進庁内検討会議
 令和元年12月24日
 第10回伊賀市歴史的風致維持向上協議会
 令和2年 3月24日
 令和元年度計画変更認定

状況を示す写真や資料等

令和2年度
企画振興部
総合政策課
文化交流課
財務部
財務課
人権生活環境部
市民生活課
空き家対策室
産業振興部
農林振興課
農村整備課
商工労働課
観光戦略課
中心市街地推進課
建設部
都市計画課
道路河川課
企画管理課
企業用地整備課
建築課
住宅課
伊賀市消防本部
消防総務課

上下水道部
水道工務課
下水道課
伊賀支所
伊賀支所振興課
阿山支所
阿山支所振興課
大山田支所
大山田支所振興課
島ヶ原支所
島ヶ原支所振興課
青山支所
青山支所振興課
教育委員会事務局
文化財課

令和2年度
令和2年6月1日
第11回伊賀市歴史的風致維持向上協議会
令和2年6月26日
令和元年度進捗管理シート提出
令和2年11月26日
第3回伊賀市歴史的風致維持向上計画推進庁内検討会議
令和2年11月30日
中部歴まち認定都市連携事業検討会(第2回)(ウェブ会議)
令和3年1月20日
第12回伊賀市歴史的風致維持向上協議会
令和3年2月26日
令和2年度計画変更提出
令和3年3月15日
令和2年度計画変更承認
令和3年3月29日
『中間評価(暫定版)』パブリックコメント(4月30日まで)

令和3年度
企画振興部
総合政策課
文化交流課
財務部
財政課
人権生活環境部
市民生活課
空き家対策室
産業振興部
農林振興課
農村整備課
商工労働課
観光戦略課
中心市街地推進課

建設部
都市計画課
道路河川課
企画管理課
企業用地整備課
建築課
住宅課
伊賀市消防本部
消防総務課

上下水道部
水道工務課
下水道課
伊賀支所
伊賀支所振興課
阿山支所
阿山支所振興課
大山田支所
大山田支所振興課
島ヶ原支所
島ヶ原支所振興課
青山支所
青山支所振興課
教育委員会事務局
文化財課

令和3年度
令和3年5月14日 第13回伊賀市歴史的風致維持向上協議会
令和3年6月10日 中間評価シート提出
令和3年6月22日 中部歴まち認定都市連携事業検討会(第1回)(ウェブ会議)
令和3年8月10日 令和2年度進捗評価シート提出
令和3年9月9日 中部歴まち認定都市連携事業検討会(第2回)(ウェブ会議)
(延期)
令和3年10月21日 地域協議
令和3年11月16日 伊賀市歴史的風致維持向上計画推進庁内検討会議(第4回)
令和3年11月25日 中部歴まち認定都市連携事業検討会(第2回)(ウェブ会議)
令和3年11月26日 国土交通省歴まち認定都市担当者会議(ウェブ会議)
令和4年1月21日 第14回伊賀市歴史的風致維持向上協議会

令和4年度
企画振興部
総合政策課
文化振興課
財務部
財政課
地域連携部
伊賀支所
島ヶ原支所
阿山支所
青山支所
産業振興部
農林振興課
農村整備課
商工労働課
観光戦略課
中心市街地推進課

建設部
建設監理課
道路河川課
都市計画課
建築課
住宅課
企業用地整備課
建築課
住宅課
住宅課空き家対策室
企業用地整備課
伊賀市消防本部
消防総務課

上下水道部
水道工務課
下水道課
教育委員会事務局
文化財課

令和4年度
令和4年5月20日 第15回伊賀市歴史的風致維持向上協議会
令和4年5月31日 令和3年度進捗管理シート提出
令和4年6月29日 中部歴まち認定都市連携事業検討会(第1回)(ウェブ会議)
令和4年9月15日 中部歴まち認定都市連携事業検討会(第2回)(ウェブ会議)
令和4年10月20・21日
第8回中部歴まちサミットin郡上
令和4年11月24日 伊賀市歴史的風致維持向上計画推進庁内検討会議(第4回)
令和5年2月3日 第16回伊賀市歴史的風致維持向上協議会
令和5年3月30日 令和4年度計画変更認定

評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
伊賀市の景観計画との連携			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	伊賀市における良好な景観形成に関する施策として、都市マスタープランや景観計画、伊賀市の適正な土地利用に関する条例及び立地適正化計画等に基づいた市の政策、三重県屋外広告物条例がある。これらの施策と連携し、良好な景観形成の面から重点区域の歴史的風致の維持及び向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度:	島ヶ原区域及び阿保区域の重点区域指定と景観計画を説明。		
平成29年度:	島ヶ原区域及び阿保区域内の景観重点区域協議、景観審議会開催。		
平成30年度:	島ヶ原区域及び阿保区域内の景観重点区域協議、市街地重点区域の協議組織の再編。		
令和元年度:	景観アドバイザー会議(令和元年10月1日)、景観審議会(令和2年3月2日)の開催。		
令和2年度:	島ヶ原区域及び阿保区域内の景観重点区域協議、景観審議会開催。		
令和3年度:	景観アドバイザー会議(令和3年6月8日)、景観審議会(令和3年6月29日、11月25日、3月2日)、うへのまち風景づくり協議会役員会(令和3年7月21日、令和4年2月10日)、うへのまち風景づくり協議会総会(令和3年11月29日)の開催。		
令和4年度:	うへのまち風景づくり協議会役員会(令和4年8月24日、10月5日、令和5年2月17日)、うへのまち風景づくり協議会総会(令和4年12月5日)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	本計画と市の各種計画との整合性を図り、重点区域の歴史的風致の向上を図る。島ヶ原区域と阿保区域の景観保全のための重点区域指定に向けた協議を実施してきたが、景観保存のための私有財産への制限は困難との一定の方向性が出たが、今後の地域の意見により協議は継続する。		
状況を示す写真や資料等			
平成28年度 ○島ヶ原区域の重点区域指定及び景観計画説明 ○阿保区域の重点区域指定及び景観計画説明	平成29年度 ○島ヶ原区域及び阿保区域内の景観重点区域協議 ○景観審議会	平成30年度 ○島ヶ原区域及び阿保区域内の景観重点区域協議	令和元年度 ○景観アドバイザー会議 ○景観審議会
令和2年度 ○島ヶ原区域及び阿保区域内の景観重点区域協議 ○景観審議会	令和3年度 ○景観アドバイザー会議 ○景観審議会	令和4年度 ○景観アドバイザー会議 ○景観審議会	
			
令和元年度 景観審議会(現地研修)	令和元年度 景観審議会	令和2年度 景観審議会	令和3年度 景観審議会
			
令和4年度 景観審議会			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成28年度
項目		現在の状況	
史跡上野城跡保存整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

事業期間	平成14年度～平成28年度
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化財保存事業)
計画に記載している内容	伊賀市の観光の中心である上野公園において、史跡上野城跡保存整備基本計画(平成10年3月策定)に基づき、かつて筒井本丸や城代屋敷のあった「筒井本丸ゾーン」の整備を行う。石垣の修復や城代屋敷建物の遺構・建物跡の平面表示、説明看板等施設の整備工事を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度: 史跡上野城跡城代屋敷跡整備工事・サイン設置工事。城代屋敷の説明と誘導を意識した案内看板を設置。

平成29年度: 事業完了。平成29年12月2日、整備完了説明会を開催。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
----------------	--------------------------

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画通り事業を完了した。
--	--------------

状況を示す写真や資料等

平成28年度



城代屋敷 遺構表示

整備完了説明会の様子



城代屋敷 遺構表示

整備完了説明会の様子

評価軸③-2

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	平成28年度
			現在の状況
史跡旧崇広堂保存整備事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成18年度～平成28年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化財保存事業)		
計画に記載して	旧崇広堂の中土塀・西土塀・南土塀・東土塀の保存修理工事を中心とする整備を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度:	史跡の環境整備として建物土壁補修や便益施設改修、庭園の樹木の剪定と伐採を行ない、修理報告書を作成。		
平成29年度:	事業完了。平成29年12月2日、整備完了説明会を開催。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画通り事業を完了した。		
状況を示す写真や資料等			

平成28年度



北控所や渡廊下の土壁修理後



整備完了説明会の様子

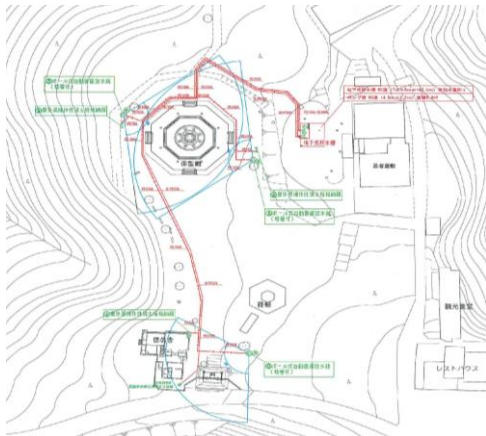


樹木の伐採や剪定後

評価軸③-3

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	平成29年度
項目		現在の状況	
俳聖殿等消防施設整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～平成28年度		
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化財保存事業)		
計画に記載している内容	重要文化財(建造物)である俳聖殿等を火災から守るため、消火設備(貯水槽、ポンプ室、消火ポンプ等)、警備設備(炎検知器取付等)、防犯設備(防犯カメラ取付等)、避雷設備(避雷針等)を設置。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成27年度:	避雷針の設置と消火設備のうち貯水槽、ポンプ室の設置及び埋設配管の施工を実施。		
平成28年度:	消火設備のうち消火ポンプと放水銃、炎検知器、防犯カメラ及び自火報受信機の取り付け等を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画通り設置を完了した。		
状況を示す写真や資料等			



平成28年度事業



俳聖殿での一斉放水状況

評価軸③-4

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
観菩提寺本堂・楼門防災施設等整備事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和4年度		
支援事業名	国宝重要文化財等防災施設整備事業費補助金・三重県文化財等保存事業補助金		
計画に記載している内容	国重要文化財観菩提寺本堂・楼門の防災設備である消火エンジンポンプ等を更新し、首振り式自動放水銃等を新設する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度:	観菩提寺本堂・楼門防災施設等整備事業により首振り式放水銃4基、炎検知器4基、消火栓2基等の防災施設等整備工事を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	計画通り設置を完了し、完成後、お披露目と取り扱い説明会を開催し、放水等を実施した。		
状況を示す写真や資料等			



観菩提寺本堂防火施設等設置前



防火施設等掘削工事(本堂)



防火施設設置状況



観菩提寺楼門防火施設等設置前



防火施設等掘削工事(楼門)



新設した首振り式放水銃の放水状況

評価軸③-5

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
春日神社拝殿解体修理事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成28年度～令和4年度		
支援事業名	文化財保護事業補助金(県指定文化財等補助事業)		
計画に記載している内容	過去の修理履歴から解体修理が行われて三百年余りが経過し、建物の軸部が不安定な状況にある春日神社拝殿の解体修理を行う。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

室町時代(15世紀以前)に建てられた春日神社拝殿は、不同沈下や腐食といった経年劣化が進行しているため保存修理事業を実施している。

平成28年度:	修理事業の実施設計を策定し、拝殿にあった絵馬の輸送や工事に支障となる構造物を移動した。また、拝殿の文化財的価値を学習する講演会を2回開催した。
平成29年度:	解体工事に着手し、一般建築資材等を購入。現場説明会を1回開催(135名参加)。
平成30年度:	解体工事を完了し、地盤調査を実施し、耐震補強等を検討した。部材補修や主要部材を購入。第1回公開講座開催(82名参加)
令和元年度:	建築部材調査を進め、専門家の指導助言を受けて部材補修を実施した。壬生野小学校「春日神社について」授業。第2回公開講座開催(12/14:55名参加)、「事業だより かすが4号」発行。保存修理の進捗を図り、文化財保護を周知した。
令和2年度:	年度前半は解体部材の補修、年度後半は基礎補修、組み立て工事、耐震補強金具の取り付けを実施した。第3回公開講座は新型コロナウイルス感染拡大防止のため延期、「事業だより かすが第5号・第6号」発行。文化財の保存修理の進捗を図り、文化財保護の周知を行なった。
令和3年度:	銅板屋根や漆喰壁の復旧工事。第3回公開講座「伊賀の宮座行事」及び現場見学を開催(7月16日・57名参加)、「事業だより かすが第7号」発行。第7回指導委員会を開催し、保存修理の進捗を図り、文化財保護の周知を行なった。
令和4年度:	拝殿内部の漆喰壁や板壁を復旧し、保存修理事業を完了した。第8回(7月27日)、第9回(12月9日)指導委員会の開催、現場見学会の開催(8月27日 50名参加)、「事業だより かすが第8号」発行し、文化財保護の周知を行なった。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	県内最古級の春日神社拝殿を適切に解体修理するため、令和4年度完了を目標に事業を進めている。

状況を示す写真や資料等

平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				
解体工事前の拝殿	解体工事着手・素屋根	解体工事の様子	指導委員会の様子	柱建て方
				
解体工事前の絵馬搬送	解体工事の様子	解体工事後	補修部材の購入	化粧隅木取付
令和3年度	令和4年度			
				
銅板葺き屋根修理	拝殿内の様子	保存修理完了後の拝殿	大絵馬・相撲板番付の復旧	

評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
観菩提寺楼門二天立像保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和5年度～令和8年度		
支援事業名	三重県指定文化財保護事業費補助金		
計画に記載している内容	国重要文化財観菩提寺楼門北面に所在する三重県指定有形文化財(彫刻)の木造多聞天立像及び木造広目天立像の保存修理を実施し、後世に伝える。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和4年度: 木造多聞天立像の状態確認及び搬出方法等検討			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	二天とも表面が剥離し、躯体部材に隙間や欠損が生じている。令和5年度から2年間、木造多聞天立像の保存修理事業に着手する予定である。令和7年度から2年間で木造広目天立像の保存修理事業を実施する計画である。修理後の保管や活用が課題である。		
状況を示す写真や資料等			

令和4年度



木造多聞天立像(修理前)



木造広目天立像(修理前)

評価軸③-7

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
史跡及び名勝蓑虫庵保存修理事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和4年度～令和5年度		
支援事業名	三重県指定文化財保護事業費補助金		
計画に記載している内容	史跡及び名勝蓑虫庵の蓑虫庵の屋根修理及び庭園の樹木整理を行い、文化財的価値を維持することにより芭蕉頭彰と俳句文化の意識向上と景観の維持を図る。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和4年度: 蓑虫庵周囲の樹木剪定の指導を受け、剪定を進めるとともに、蓑虫庵の茅葺屋根の葺き替えを実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	茅葺屋根の修理を実施し、蓑虫庵周囲及び庭園の樹木剪定・整枝を適切に行い、史跡及び名勝としての蓑虫庵の文化財的価値を維持していく。

状況を示す写真や資料等

令和3年度



樹木剪定前

令和4年度



茅葺屋根の葺き替え及び樹木の部分的剪定後

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
登録有形文化財建造物美観向上事業		<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和3年度～令和7年度		
支援事業名	文化観光充実のための国指定等文化財磨き上げ事業		
計画に記載している内容	屋根や外壁の美観向上事業		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和3年度: 屋根塗装、外壁の洗浄・撥水塗装完了。庇取り替え完了。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	上野城下町区域に所在する国登録有形文化財上野文化センターの外観が向上した。		

状況を示す写真や資料等

令和3年度



工事着手前



工事完了後

評価軸③-9

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
ヘリテージマネージャー活動支援事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成29年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	ヘリテージマネージャーを養成し、登録有形文化財建造物の登録を推進する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度:	登録有形文化財候補(旧料理旅館九重本館・別館・門及び塀)の現地調査・整理。		
平成29年度:	3件(旧料理旅館九重本館・別館・門及び塀)の答申。		
平成30年度:	3件(旧料理旅館九重本館・別館・門及び塀)の登録。		
令和元年度:	4件の登録文化財候補の現地調査・測量・写真撮影を実施。1件の登録文化財申請。登録有形文化財(建造物)数が52件となった。歴史的建造物の保存が図られ、今後も文化財として活用が図られた。		
令和2年度:	大和街道と島ヶ原宿、初瀬街道と阿保宿の2つの重点区域及び伊賀焼にみる歴史的風致(阿山丸柱周辺)の区域において、歴史的建造物の調査・記録作業を実施した(3件)。		
令和3年度:	重点区域の上野城下町区域において、歴史的建造物の調査・記録作業を3件実施した。		
令和4年度:	重点区域の上野城下町区域において、愛閑亭、旧沖森家住宅の調査を実施し、菅原神社社務所の調査・記録保存を行なった。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	ヘリテージマネージャー(地域歴史文化遺産保全活用推進員)養成のための文化財調査にかかり継続した調査活動が出来るよう予算確保に努める。ヘリテージマネージャー活動の周知を図り、新規加入を促進する。また、積極的に調査・記録作業を進め、歴史的建造物・町並みの保全に寄与する。		

状況を示す写真や資料等

登録文化財 旧料理旅館九重本館・別館・門及び塀



本館門及び塀



本館北棟



伊賀鉄道桑町跨線橋



本館 2階 広間



別館 竹の間外観



伊賀鉄道小田第二暗渠



伊賀鉄道小田拱橋

令和元年度 現地調査・整理



伊賀鉄道上野市駅舎

令和2年度 旧本陣ほか



令和3年度 星家住宅ほか



令和4年度 愛閑亭ほか

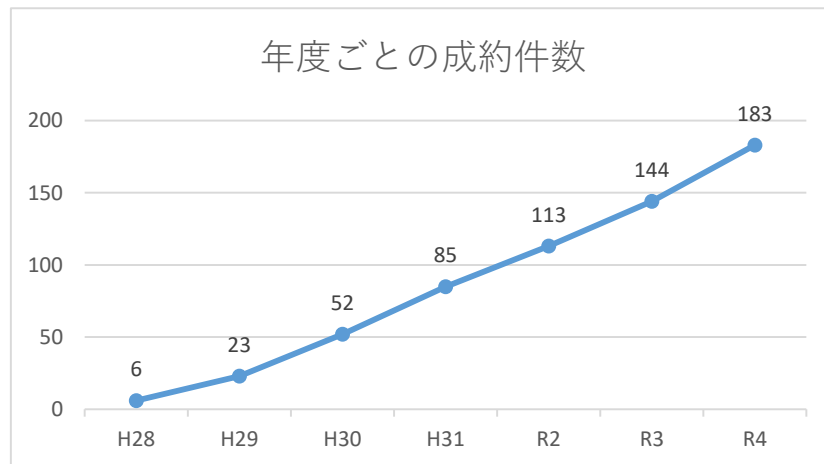
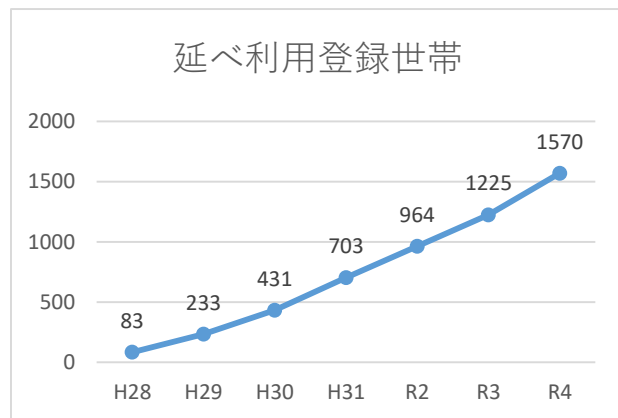
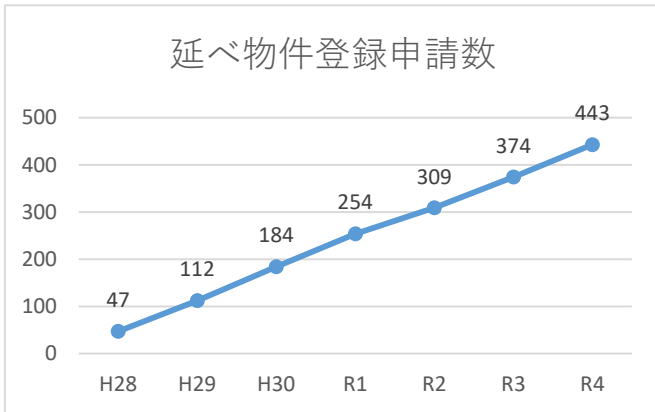


評価軸③-6

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
伊賀流空き家バンク事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成27年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内の空き家情報をストックし、貸したい人、借りたい人、地域内の不動産業者等の連携により空き家の有効活用を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度:	購入(賃貸)希望者85世帯登録、物件登録数46件、物件成約数6世帯(19人)		
平成29年度:	購入(賃貸)希望者107世帯登録、物件登録数46件、物件成約数17世帯(43人)		
平成30年度:	購入(賃貸)希望者340世帯登録、物件登録数143件、物件成約数40世帯(98人)		
令和元年度:	購入(賃貸)希望者703世帯登録、物件登録数254件、物件成約数86世帯(212人) 利用者・物件登録、物件成約が増加し、空き家の有効活用が進んでいる。		
令和2年度:	購入(賃貸)希望者262世帯登録、物件登録数55件、物件成約数28世帯(うち上野城下町3件、島ヶ原2件、阿保0件)		
令和3年度:	購入(賃貸)希望者260世帯登録、物件登録数65件、物件成約数31世帯(うち上野城下町8件、島ヶ原2件、阿保1件)		
令和4年度:	購入(賃貸)希望者1,570世帯登録、物件登録数443件、物件成約数183世帯(うち上野城下町20件、島ヶ原21件、阿保5件)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	利用者登録、物件登録共に当初の想定を大幅に上回り、郊外の空き家が減少傾向にある。		

状況を示す写真や資料等



評価軸③-11

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
松生家活用事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成21年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	上野西町において町屋を活用して整備した「松生家」で、地場産品を活用した店内飲食、惣菜販売、物産販売などのテナントミックス事業を展開する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28～30年度:	施設には、1日平均100人の来店がある。主に地元の方から安心した食を提供する店として認知され利用されている。また、休日には観光客が来店し、地元食材を使用したお店として食事を楽しんだり、土産品を買い求めるなどして賑わっている。また、多目的スペースでは地元の方の習字教室として利用されている。		
令和元年度:	新規テナントにより、天ぷら屋、カフェ、土産販売、観光案内機能を備えた複合施設として令和元年10月18日にオープンした。観光客や地元の方の食事など憩いの場としての利用されている。		
令和2年度:	「西町やかかん」としてカフェや土産販売、観光のちらしを置くなど、まち歩きや観光の案内、発信の場として利用されている。		
令和3年度:	「西町やかかん」としてカフェや土産販売、観光のちらしを置くなど、まち歩きや観光の案内、発信の場として利用されている。		
令和4年度:	「西町やかかん」としてカフェや土産販売、観光のちらしを置くなど、まち歩きや観光の案内、発信の拠点の1つとなっている。建物の一部は、忍者変身処として、また伊賀忍術道場の1つの「歩法道場」として忍者修行が体験できる場としても活用されている。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	年々、来店者が減少気味で、売上減少等の課題が生じていた。また、古い建物のため修繕にかかる費用が事業者の負担となっていた。旧テナントの「ハハトコ食堂」は平成31年4月30日に閉店。令和元年10月18日に「西町やかかん」として開業。		

状況を示す写真や資料等

平成28・29・30年度の様子



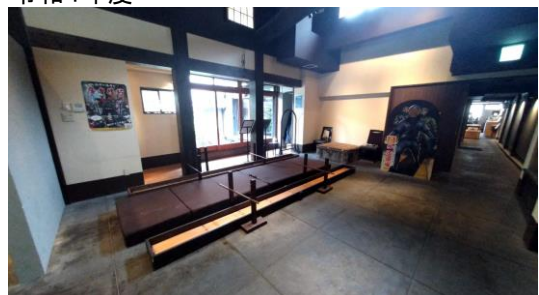
外部の様子

内部の様子

令和元年度・令和2年度

令和3年度

令和4年度



外観の様子(新規テナントの出店)

まち歩き観光客の来店の様子

「西町やかかん」内部の伊賀忍術道場

評価軸③-8

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和2年度 現在の状況
まち巡り拠点施設整備事業(成瀬平馬家長屋門活用事業)			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成24年度～令和2年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成24年度～平成27年度)、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成29年度～令和2年度)		
計画に記載している内容	成瀬平馬家長屋門及び当該敷地を活用し、まち巡り拠点の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度:	平成29年3月に市の文化財指定となった。		
平成29年度:	平成29年5月に市指定文化財として保存修理するための設計見直し業務を発注し、同年9月末に完了した。6月、7月に3回に亘り成瀬平馬家長屋門保存改修検討委員会会議を開催し、保存修理の内容を検討した。		
平成30年度:	平成30年3月に改修工事の契約を締結した。その後一部建物を解体しながら調査を行った。		
令和元年度:	半解体工事により、床の不陸、柱の傾き、柱の傷み等の修理を行った。保存修理により上野城内に残る唯一の長屋門がよみがえり、周辺の景観向上につながることを期待されている。		
令和2年度:	令和2年6月末に保存修理工事が完成し、文化財としての価値を長く維持することが出来ると思われる。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している	令和2年6月に改修工事が完成した成瀬平馬家長屋門北側の同家屋敷跡は、賑わい忍者回廊PFI事業による忍者体験施設の設計に取り組んでおり、長屋門とともに一体的な利活用を目指している。		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない			

状況を示す写真や資料等

成瀬平馬家長屋門

平成28年度 指定時



平成29年度 工事着手前



平成30年度 工事着手後



令和元年度 工事中



令和2年度 完成



評価軸③-13

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
修景助成事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成28年度～令和7年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	重点風景地区で、景観形成基準に合致した、建築物、工作物の新築、改築、模様替えに対し助成を行う。また、「景観法」に基づく景観重要建造物及び「伊賀市ふるさと風景づくり条例」に基づく景観形成対象物について助成を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度:	景観形成対象物である土塀の修復等3件に対して1,167千円の助成を行った。		
平成29年度:	景観形成対象物である土蔵の修繕及び景観形成地区における新築等5件に対して4,703千円の助成を行った。		
平成30年度:	広報いが市で年2回助成事業の周知を図っている。平成30年度は助成の対象になる事業は無かった。		
令和元年度:	広報いが市で助成事業の周知を図っている。令和元年度は相談については4件あったものの条件に満たなかった所以对象となる事業は無かった。		
令和2年度:	広報いが市で助成事業の周知を図っている。令和2年度は相談については4件のうち、1件は、助成に結びつく可能性があり、継続して協議を行っている。他の相談については、条件に満たなかった所以对象となる事業は無かった。		
令和3年度:	相談件数4件。うち1件について助成対象として協議を進めていたが、事業者から申請取りやめの申し出があり、本年度について助成対象となる事業は無かった。		
令和4年度:	助成件数2件(相談件数4件)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	所有者の修景への意識が希薄化しており、助成対象行為であっても、要件を満たさないため助成金を交付することが出来ていない現状である。住民団体であるうえのまち風景づくり協議会を活用し住民の良好な景観形成への意識形成を図っていく。また、助成制度のあり方についても併せて検討していく。		

状況を示す写真や資料等

平成28年度事業

景観形成対象物土塀の修復



修復前



修復後

平成29年度事業

景観形成地区建築物の修復



修復前



修復後

景観形成地区土蔵外壁の修理



修理前



修理後

令和4年度事業



修理後(外壁のクリーニングと再塗装)



修理前



修理後

評価軸③-14

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
芭蕉翁生家施設改修整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成30年度～令和3年度		
支援事業名	市単独事業・社会資本整備事業(街なみ環境整備事業)		
計画に記載している内容	老朽化により傾斜が著しい市指定史跡芭蕉翁生家の建物修理及び改修を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成30年度:	建物の損傷状況を調査した。また専門家から構成される指導委員会を開催し、修理の方針・方法について指導・助言を受けた。		
令和元年度:	改修方法等の検討を行うための基礎調査を終え、その結果に基づき指導委員会を開催し、具体的な改修方法等について検討した。設計業務を発注し、令和2年3月末に完了した。設計が完成し、工事に向けて事業の進捗が図られた。		
令和2年度:	工事着手後、文化財の痕跡調査を行いながら建物の半解体作業を令和2年度末までに完了した。		
令和3年度:	建物の傾斜を修正。基礎補強、柱や梁、土壁や瓦屋根の修理を実施。令和4年2月28日完成、令和4年4月1日供用開始。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財としての利活用や構造補強の具体的な方法・工法について検討しながら令和3年度完成に向けて事業を進める。		

状況を示す写真や資料等

平成30年度



芭蕉翁生家

令和元年度



工事着手前

令和2年度



仮設置

令和3年度



瓦屋根修理



完成写真



完成写真

評価軸③-15

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
古民家等再生活用事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和元年度～令和7年度		
支援事業名	地域再生計画(地方創生拠点整備事業) 住宅市街地総合整備事業(空き家対策総合支援事業)		
計画に記載している内容	地域の特性を踏まえ、安心して暮らせる地域の実現を目指し、空家法に基づく措置を進め、活用可能な空き家を「地域資源」として活用するとの基本理念に基づき、上野城下町(中心市街地)において城下町に点在する空家を歴史的資源として捉え、活用していく古民家再生事業「伊賀上野城下町ホテル」事業を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和元年:	古民家等再生活用事業を実施するための指針を定め、主体的に開発を行う会社を民間が設立し、それに伴い市も10%出資を行い第1期開発に着手。地方創生拠点整備交付金を受け栄楽館施設整備改修工事に着手、令和2年3月に完成、住宅市街地総合整備事業により、民設民営で開発を進める旧広部邸及び旧福森邸の設計に着手		
令和2年度:	分散型ホテル「NIPPONIA HOTEL(ニッポニアホテル)伊賀上野城下町」として令和2年(2020)11月1日に全3棟のうち、2棟(「栄楽館」(国登録)・「旧廣部邸」)がオープンした。栄楽館はフロントやレストラン、3つの客室を備えた中心施設として「KANMURI(かんむり)」と命名。レストランでは伊賀牛や伊賀米など地元の食材を使ったランチ、ディナーが楽しめる。母屋と土蔵、倉庫を改修して3室を設けた旧廣部邸は、伝統工芸・伊賀組紐の代表的な組み方「高麗組」から「KOURAI(こうらい)」と名付けられた。開業以来、コロナ禍の影響を受けながらも高い客室稼働率で推移しており、今後も需要が見込まれることから、早期に第2期開発を進めていく予定である。		
令和3年度:	明治初期に建てられた、木造2階建ての元材木店を活用した「MITAKE棟」が5月にオープンした。屋根と天井の間にある「つし」を改装した寝室など材木店の特徴や趣を感じられる施設となっている。第1期事業は完了したため、今後は第2期の物件選定など協議を行っている。		
令和4年度:	2件の物件調査を実施。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	1棟については、新型コロナウイルス感染症拡大防止に伴い3密対策等により工事着手を次年度に繰越を行った。2件の物件調査を経て令和5年度から1棟の改修工事を実施していく。		

状況を示す写真や資料等

令和元年度



令和2年度



栄楽館(国登録)
ホテル名「KANMURI(かんむり)」



蔵をリノベーション



旧廣部邸
ホテル名「KOURAI(こうらい)」



旧福森邸
ホテル名「MITAKE(みたけ)」

評価軸③-16

歴史的遺産の周辺環境に関する事項

		評価対象年度	令和元年度
項目		現在の状況	
ポケットパーク整備事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成28年度～令和元年度		
支援事業名	社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成28年度)、市単独事業(平成29年度～令和元年度)		
計画に記載している内容	重点区域内において歴史的な町並みに配慮したポケットパーク・広場の整備を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度:	平成29年3月からポケットパークに隣接する県道改良工事開始。		
平成29年度:	県道改良工事は平成29年9月末完了。ポケットパーク内にトイレや授乳室を含む施設の設置を行うことから、地元自治会等への説明、設計業者の選定に時間を要していたが、平成30年2月に設計業務を発注した。		
平成30年度:	設計業務が平成30年9月末に完了。設計内容や今後の施設管理方針について自治協議会等への説明を行った。		
令和元年度:	令和元年5月に工事に着手し、令和2年3月に完成した。来街者や住民の利便性が向上し、町の魅力が増進した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和2年3月に完成し供用を開始した。地域と連携して活用を図る。		
状況を示す写真や資料等			

平成28年度



県道改良工事前のポケットパーク予定地

平成29年度



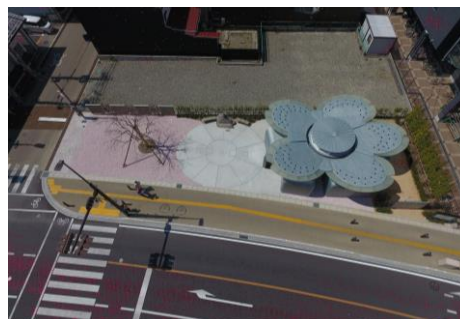
県道改良工事完了後のポケットパーク予定地

平成30年度



ポケットパーク設計パース図

令和元年度



完成後のポケットパーク

評価軸③-17

歴史的遺産の周辺環境に関する事項

項目		評価対象年度	令和3年度 現在の状況
道路美装化事業(上野城下町区域)			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成20年度～令和3年度		
支援事業名	街なみ環境整備事業費補助金(平成20年度～平成22年度)、社会資本整備総合交付金(都市再生整備計画事業)(平成23年度～平成27年度)、社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業)(平成28年度～令和3年度)		
計画に記載している内容	上野天神祭におけるだんじり及び鬼行列の巡行路線を中心に、道路の脱色アスファルト舗装及び側溝改修を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度:	平成28年8月～平成29年1月に市道愛宕町恵美須町線延260mの道路美装化工事を行った。		
平成29年度:	平成28年12月～平成29年7月に市道農人町八幡町線延250mの道路美装化工事を行った。		
平成30年度:	平成30年7月～平成30年11月に市道丸之内久米線延100mの道路美装化工事を行った。		
令和元年度:	令和元年8月～令和3年2月に市道農人町八幡町線(北側部分)延220mの道路美装化工事を行った。舗装と側溝の改修により城下町の景観が向上した。		
令和2年度:	令和2年7月～令和3年2月に市道農人町八幡町線未舗装区間延227mの道路美装化工事を行った。		
令和3年度:	令和3年7月～12月に市道小田西明寺線延120m、令和3年11月～令和4年2月に市道愛宕神社線延100mの美装化工事を行った。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	令和3年度で街なみ環境整備事業として予定していた全ての道路美装化工事が完了し、だんじりの映える街なみ、歩いて周りたくなる街なみの形成に寄与した。今後はまちなか回遊性の向上に向け他事業と連携した取り組みを進めていく。		

状況を示す写真や資料等

平成28年度



市道農人町八幡町線(施工後)

平成28年度～29年度



市道愛宕町恵美須町線(施工後)

平成30年度



市道丸之内久米線(施工後)

令和元年度



市道農人町八幡町線(施工後)

令和2年度



市道農人町八幡町線(施工後)

令和3年度



市道小田西明寺線(施工後)



市道愛宕神社線(施工後)

評価軸③-18

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和3年度
項目		現在の状況	
上野公園園路整備事業			<input checked="" type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	令和3年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	上野公園(国史跡上野城跡と重複)内において、全ての人が歩きやすい園路整備のため、景観に配慮した洗い出しコンクリートや御影石を用い舗装を行う。		

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和3年度: 上野公園内の園路整備(延長425m)を完了した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	園において史跡上野城跡の景観に配慮した園路整備を実施することにより、史跡としての景観が保たれ、公園あるいは城跡の利活用向上に寄与した。

状況を示す写真や資料等



工事着手前



工事施工後



工事着手前



工事施工後

評価軸③-19

市民意識の向上と、歴史文化を継承する担い手の育成に関する事項

評価対象年度		令和4年度
項目		現在の状況
上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等事業(保存事業)		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成15年度～令和7年度	
支援事業名	国宝重要文化財等保存整備費補助金(文化財保存事業)	
計画に記載している内容	必要に応じて学識経験者等の指導・助言を得ながら、重要無形民俗文化財上野天神祭のダンジリ行事に使用する用具等の修理、復元新調等を実施する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
平成28年度:	西町雪洞30基の復元新調と徳居町太鼓台の修理を行った。	
平成29年度:	魚町楼車に懸かる御簾1枚の新調と鍛冶町楼車の解体修理を行っている。鍛冶町楼車の修理は平成30年8月完了。	
平成30年度:	鍛冶町楼車解体修理が終了し、東町楼車の車輪修理を進めている。	
令和元年度:	東町楼車の車輪修理が完了し、福居町の幕新調に着手した。	
令和2年度:	福居町楼車前水引幕復元新調を実施している。	
令和3年度:	福居町楼車幕復元新調事業について、監修会議や審議会を開催し指導・助言を得て、前水引幕の復元新調を完了した。	
令和4年度:	福居町楼車の右水引幕の復元修理を実施。幕監修会議や審議会を開催した。中町楼車等の詳細調査の実施。	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	復元新調や修理には費用が高むことが課題であり、所有者や上野文化美術保存会と協議しながら適切に補助事業を実施し、保存と継承を図る必要がある。令和5、6年度は、引き続き福居町の楼車幕の修理を計画している。その他楼車の経年劣化が課題となっており、計画的な保存修理事業の実施が必要である。	

状況を示す写真や資料等

平成28年度
徳居町太鼓台



西町楼車雪洞



平成30年度～令和元年度



東町楼車

平成29年度



魚町楼車御簾

令和2年度



福居町楼車前水引幕
(製作中)

令和3年度



福居町幕監修会議

令和4年度



第2回審議会の様子

平成29年度～30年度



鍛冶町楼車



福居町幕監修会議



福居町楼車前水引幕
復元新調完成



福居町楼車右・左・後水引幕
復元修理事業の実施

評価軸③-20

市民意識の向上と、歴史文化を継承する担い手の育成に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等事業(活用事業)			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成15年度～令和7年度		
支援事業名	地域総合文化財総合活性化事業(平成27年度～)		
計画に記載している内容	小学生を対象にふるさと学習会を開催し、上野天神祭の歴史を学んだり、お囃子を体験したりする。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度:	だんじり会館での出前講座。お囃子体験会実施。囃子体験会は28年度は向島町が講師で11人の参加があった。		
平成29年度:	だんじり会館での出前講座、お囃子体験会実施。囃子体験会は西町が講師で6人の参加があった。		
平成30年度:	親子で歩こう! 着物を体験しよう! 城下町2018の開催。中町楼車でのお囃子体験会実施。12名の参加者があった。		
令和元年度:	上野南中学校お囃子体験(6/25:23名参加)、お囃子体験(10/13:6名参加、2/23:18名参加)、親子で歩こう! 天神祭2019(10/19:28名参加)、久米小学校お囃子体験(10/29:29名参加)、上野西小天神祭総合学習(2/12:95名参加)		
令和2年度:	親子で歩こう! 天神祭2020(10月24日:14名参加)、上野西小天神祭総合学習(2月16日:100名参加)		
令和3年度:	親子で歩こう! 天神祭2021 (10月23日・17名参加)、お囃子体験(2月27日)を予定。三重県立上野高等学校地域未来フィールドワーク(聞き取り10月20日、ポスターセッション12月8日)		
令和4年度:	親子で歩こう! 秋の城下町2022(10月22日・31名参加)、上野西小学校3年生の郷土学習(令和5年 2月10日・120名)、お囃子体験(令和5年2月26日・27名)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	地域の協力を得て実施している。伝統が継承されるよう参加人数の増加を目指したい。		

状況を示す写真や資料等

平成28年度



お囃子体験の様子

平成29年度



お囃子体験の様子

平成30年度



お囃子体験の様子

平成30年度



親子で歩こう! 着物を体

令和元年度



お囃子体験の様子

令和元年度



お囃子体験の様子

令和2年度



上野西小学校総合学習の様子

令和3年度



親子で歩こう! 秋の城下町

令和4年度



親子で歩こう! 秋の城下町2022の様子



上野西小学校総合学習の様子

評価軸③-17

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
大村神社例大祭 民俗文化財伝承・活用等事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input type="checkbox"/> 実施中 <input checked="" type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成16年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	大村神社例大祭獅子舞・神輿・山車で使用する用具等の修理、復元新調等を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28・29年度:	阿保地区住民自治協議会のメンバーが中心となって11月2・3日に開催された例大祭獅子舞について、用具等の修繕をすることにより、地域文化の継承と歴史的風致の向上を図ることができると考えているが、修繕等の支援には至っていない。		
平成30年度:	平成30年11月2・3日に秋祭りが開催された。		
令和元年度:	令和元年11月2・3日に秋祭りが開催された。		
令和2年度:	令和2年11月2・3日の秋祭りは、新型コロナウイルス感染拡大防止により神事のみの実施となった。		
令和3年度:	令和2年11月2・3日の秋祭は、新型コロナウイルス感染拡大防止により規模縮小(神事のみ)して実施。2日(宵宮祭)は午前は祭講の参拝、夕方から宵宮祭、3日(例大祭)は午前に秋季例大祭、正午に湯神楽が行われた。		
令和4年度:	令和4年11月2日宵宮、3日例大祭が開催された。餅撒きなど一部行事が出来なかったが、コロナ禍前に近い祭礼が実施された。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	大村神社例大祭獅子舞等について、市の無形民俗文化財として指定し、修繕が必要な用具等について地元と協議する。新型コロナウイルス感染拡大防止のためのイベント中止が続けば祭礼の継承や担い手の育成に影響が出てくる可能性がある。		

状況を示す写真や資料等

平成29年度



獅子舞の様子

平成30年度



獅子舞の様子

令和元年度



獅子舞の様子

令和3年度



秋季例大祭・湯神楽

令和4年度



宵宮の獅子舞の様子



本祭の獅子舞の様子

評価軸③-22

市民意識の向上と、歴史文化を継承する担い手の育成の事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
初瀬街道まつりイベント支援事業			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
事業期間	平成17年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	獅子舞・和太鼓演奏・駕籠かき体験などのイベント、たわらや参宮講看板・阿保宿旧旅籠の暖簾・行燈・水車等の展示、初瀬街道ウォーキングやスタンプラリーなどの実施を支援する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度:	平成29年3月6日開催、約4,000人参加		
平成29年度:	平成30年3月4日開催、約4,000人参加、幟旗の新調に対して支援を行った。		
平成30年度:	平成31年3月3日開催、約3,000人参加。イベントスタッフを募集し、参加した学生らが中心となってTシャツの製作・販売を行った。		
令和元年度:	令和2年3月1日開催を予定していたが、新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として中止した。		
令和2年度:	新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として中止した。青山公民館で講看板を展示した。		
令和3年度:	新型コロナウイルス感染拡大防止対策の一環として中止した。		
令和4年度:	令和5年3月5日 第15回 初瀬街道まつり開催した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	イベントを実施している事務局の高齢化が進んでいる。NPOなどの組織の立ち上げが必要。新型コロナウイルス感染拡大防止のためのイベント中止が続けば、人々の交流や担い手の育成に影響が出る可能性がある。		
状況を示す写真や資料等			

平成29年度



初瀬街道まつりの賑わい①

平成30年度



初瀬街道まつりの賑わい
平成30年度・令和2年度



街道の賑わいを伝える講看板の展示

令和元年度 初瀬街道まつり中止

令和2年度 初瀬街道まつり中止

青山公民館での講看板展示

令和3年度 初瀬街道まつり中止

令和4年度 初瀬街道まつり開催



初瀬街道まつりの賑わい



初瀬街道まつり 街道散策



初瀬街道まつりの賑わい②

評価軸③-23

歴史的風致を活用した観光・交流促進・情報発信に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
文化財説明看板設置事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	平成16年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	市内に所在する指定等文化財について、説明看板の新設・改修・修繕を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
指定文化財の価値を説明するため、所有者と協議し文化財説明看板の設置を順次実施している。			
平成28年度:	市指定天然記念物「種生のオオツクバネガシ」の説明看板1基を設置。		
平成29年度:	市指定有形文化財(彫刻)「射手神社(旧仏性寺)石造地藏菩薩」の説明看板1基を設置、蓮徳寺の既設看板1基の修理。		
平成30年度:	市指定史跡「松寿院供養塔」の説明看板1基を常住寺内に設置。		
令和元年度:	市指定有形文化財(歴史資料)「安政伊賀上野地震供養塔」の説明看板1基を慶明寺墓地内に設置。看板設置事業の継続が指定文化財の周知に寄与している。		
令和2年度:	県指定有形文化財(彫刻)「寺田の石造地藏菩薩坐像群」3箇所に説明看板3枚を設置。看板設置事業の継続が指定文化財の周知に寄与している。		
令和3年度:	極楽寺(甲野)所蔵の文化財にかかる説明看板1基を設置。看板設置事業の継続が指定文化財の周知に寄与している。		
令和4年度:	市指定民俗文化財「伊賀のカンジョウナワ行事」にかか看板1基を中柘植に設置。国重文「木造薬師如来坐像(西盛寺)の看板1基修繕。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	3枚の指定文化財看板を設置。指定文化財の件数が多いため未設置のものもある。既設の大きさや設置方法にこだわることなく、設置件数の増加を図りたい。また説明文等の多言語化について検討する。		

状況を示す写真や資料等

平成28年度



看板設置状況



設置看板(種生のオオツクバネガシ)

平成29年度



看板設置状況



設置看板(射手神社(旧仏性寺)石造地藏菩薩)

平成30年度



看板設置状況



設置看板(松寿院供養塔)

令和元年度



看板設置状況



設置看板(安政伊賀上野地震供養塔)

令和2年度



設置看板(寺田の石造地藏菩薩坐像群)



令和3年度



設置看板(極楽寺の市指定文化財)

令和4年度



設置看板(伊賀のカンジョウナワ行事)

評価軸③-24

歴史的風致を活用した観光・交流促進・情報発信に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
宿場・街道案内板等整備事業		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	
事業期間	令和2年度～令和7年度		
支援事業名	市単独事業		
計画に記載している内容	江戸期に整備された街道と宿場町の町並みや景観の保全を図りながら、市民をはじめ、多くの観光客が活用することにより歴史的風致の維持及び向上を図る。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和2年度:	街道及び宿場町において看板内容の案を作成したが事業化には至らなかった。		
令和3年度:	地域と協議し、看板の内容や設置場所の検討を行った。		
令和4年度:	大和街道と鳥ヶ原宿区域において街道案内看板1基の設置し、重点区域の歴史的風致解説シートを作成した。また、阿保地区と看板設置について協議を実施した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	街道及び宿場町に地域とどのような看板・内容が必要か再確認し、看板の意匠や形態、材質、設置場所の具体的な計画を立てる。またハードの整備だけでなく、歴史的建造物や文化財の所在地の把握、地域の行事への参画など情報発信も並行して行う。		
状況を示す写真や資料等			

令和2年度



JR鳥ヶ原駅前の看板(現状)

令和3年度



近鉄青山町駅前の看板(現状)



大和街道沿いの設置場所検討

令和4年度



看板設置前

令和4年度



看板設置後



設置した「大和街道鳥ヶ原宿」の説明看板

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
文化財の調査・研究及び条例に基づく指定の推進			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	未指定文化財については、調査・研究を実施しその価値を適切に判断し、必要に応じて指定に向けた取り組みを図っていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度:	文化財保護審議会2回開催。県指定有形文化財(彫刻)に寺田の地蔵菩薩坐像群が指定された。(平成29年2月2日)、成瀬平馬家長屋門(上野丸之内)と松寿院供養塔(長田)の2件を市指定文化財とした(平成29年3月28日)、指定文化財件数は439件となった。		
平成29年度:	文化財保護審議会2回開催。国重要無形民俗文化財に勝手神社の神事踊が指定された。(平成30年3月8日)伊賀国上柘植村并近江国和田・五反田村山論関係文書(上野丸之内)の1件を新たに市指定文化財とした(平成30年2月22日)、指定文化財件数は440件となった。		
平成30年度:	文化財保護審議会3回開催。県指定無形民俗文化財に日置神社の神事踊・大江の羯鼓踊・比自岐神社の祇園踊の3件(平成31年1月28日)、市指定有形文化財(建造物)に「旧上野市庁舎」、市指定有形文化財(歴史資料)に「明治7年伊賀上野博覧会図」と「伊州御城下破崖損所絵図」の3件を指定した(平成31年3月26日)。指定文化財件数は444件となった。		
令和元年度:	文化財保護審議会(令和元年6月19日・12月27日、令和2年2月10日)3回開催。県指定有形文化財(古文書)に「伊賀甲賀山論関係文書」を指定(令和2年2月3日)。市指定有形文化財(考古資料)に「下郡遺跡出土木簡」、市指定有形文化財(建造物)旧上野市庁舎「附建築関係図面」を指定(令和2年3月24日)。指定文化財数は445件となった。適切な文化財指定によりその保護を図り、文化財愛護の精神の涵養を図った。		
令和2年度:	文化財保護審議会(令和2年6月23日・令和3年1月26日)2回開催。市指定無形民俗文化財に「伊賀のカンジョウナワ行事」を指定した。(令和3年3月)。指定文化財数は446件となった。適切な文化財指定により、その保護を図った。		
令和3年度:	文化財保護審議会(令和3年6月25日・令和4年1月26日)2回開催。市指定有形文化財(工芸品)に「大村神社梵鐘」を指定した(令和4年3月)。これにより指定文化財件数は502件となった。		
令和4年度:	文化財保護審議会(令和4年7月11日、令和5年2月20日)2回開催。令和5年3月20日、市指定有形文化財(絵画)「若宮八幡神像」1件を指定した。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財指定だけでなく、登録文化財についてもより一層の登録を進める必要がある。		

状況を示す写真や資料等

平成28年度県指定



有形文化財(彫刻)寺田の地蔵菩薩坐像群

平成28年度市指定



有形文化財(建造物)成瀬平馬家長屋門



史跡・松寿院供養塔1



史跡・松寿院供養塔2

平成29年度国指定



重要無形民俗文化財・勝手神社の神事踊

平成29年度市指定



有形文化財(古文書)伊賀国上柘植村并近江国和田・五反田村山論関係文書

平成30年度県指定



無形民俗文化財・日置神社の



無形民俗文化財・大江の羯鼓踊



無形民俗文化財・比自岐神社の祇園踊

平成30年度市指定



有形文化財(建造物)旧上野市庁舎



有形文化財(歴史資料)
明治7年伊賀上野博覧会図
令和2年度 市指定



令和4年度 市指定



有形文化財(絵画) 若宮八幡神像



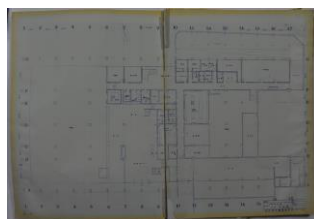
有形文化財(歴史資料) 伊州御城下破崖損所絵図



令和元年度県指定



有形文化財(古文書)伊賀甲賀山論関係文書



有形文化財(建造物)旧上野市庁舎
附 建築関係図面

無形民俗文化財
伊賀のカンジョウナワ行事

令和元年度市指定



有形文化財(考古資料)
下郡遺跡出土木簡



令和3年度 市指定
有形文化財(工芸品)大村神社梵鐘

進捗評価シート

評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和4年度 現在の状況
文化財の保護事業の推進			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	市消防本部や伊賀警察署と連携し、文化財の盗難に対する見回りや防災点検、住民への啓発活動を実施し、文化財の防犯・防災に対する意識の向上を図るように努める。また、文化財所有者や管理者等に対し、防犯設備や消防設備を可能な限り設置するよう指導を実施する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度:	町井家住宅(柘川)防災設備点検事業、木造薬師如来坐像(長隆寺)防災設備整備事業、防災訓練3件実施。		
平成29年度:	町井家住宅防災設備点検事業、木造観世音菩薩坐像・勢至菩薩坐像(西光寺)防災施設整備工事、防災訓練5件実施。		
平成30年度:	町井家住宅防災設備点検事業、大村神社(青山)、徳楽寺(西高倉)、行者堂(鳥ヶ原)、町井家住宅(柘川)、大善寺(新堂)、防災訓練5件実施。		
令和元年度:	町井家住宅防災設備点検事業、猪田神社防災設備設置事業、大村神社防災設備修理事業、大村神社(阿保)、都美恵神社(柘植町)、滝仙寺(滝)、不動寺(沖)、九品寺(守田)、猪田神社(下郡)、防災訓練6件実施。定期的に所有者・地域・行政による防火防災訓練を実施することにより防火防災の意識や実践力が高められた。		
令和2年度:	町井家住宅防災設備点検事業(継続)、高倉神社防災施設整備事業(着手)、猪田神社防災施設整備事業完了に伴い防災訓練を実施した。毎年消防署単位で行われる防火防災訓練は、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となった。		
令和3年度:	町井家住宅防災設備点検事業(継続)では1回機器点検。高倉神社本殿ほか防災施設等整備事業では工事完了に伴い、防災訓練(10月9日)を実施したが、消防署単位で実施される防火防災訓練は、新型コロナウイルス感染拡大防止により中止となった。		
令和4年度:	町井家住宅防災施設点検事業(継続)・猪田神社防災設備点検事業(新規)を実施。消防署単位で実施される防火防災訓練は、西音寺(内保)、見徳寺(中友生)、大村神社(阿保)防災訓練3件実施。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	消防署と地域の連携により開催されているが、実施場所の固定化も見られることから、開催場所を毎年変えるなど文化財の防犯・防災の意識向上を図りたい。新型コロナウイルス感染拡大防止のため訓練等が中止となっており、文化財の防火防災の意識や活動が低下する可能性がある。		
状況を示す写真や資料等			
平成28年度 防災訓練	平成29年度 防災訓練	平成30年度 防災訓練	令和元年度 防災訓練
			
愛宕神社 平成29年1月21日	観音提寺 平成30年1月28日	大村神社 平成31年1月26日	滝仙寺 令和2年1月25日
			
佐々神社 平成29年1月22日	俳聖殿 平成30年1月30日	町井家住宅 平成31年1月26日	不動寺 令和2年2月2日
令和2年度 防災訓練	令和3年度 防災訓練	令和4年度 防災訓練	
			
猪田神社 令和2年11月21日	高倉神社 令和3年10月9日	大村神社 令和5年1月28日	

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
		項目	現在の状況
文化財の保存・活用の普及・啓発			<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手
計画に記載している内容	市内に所在する文化財について、広く市民や観光客に対し関心を持ってもらうことが重要であり、市ではこれまでに文化財講座、市内小学校への出前講座、資料館、文化財施設における出張講座、市広報へ文化財情報の掲載等を通じて市民への啓発活動を実施してきた。今後も、学習会やケーブルテレビなどを活用した情報発信を継続的に行う必要がある。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
平成28年度:	柘植歴史民俗資料館企画展を4回、上野歴史民俗資料館特別展等を3回実施、オオサンショウウオ観察会を1回、書道講座を2回、バスツアーを1回、ふるさと学習スタンプラリー・夏休み親子で歩こう! 城下町を1回実施。		
平成29年度:	柘植歴史民俗資料館企画展を4回、オオサンショウウオ観察会を1回、旧崇広堂書道講座を1回、国分寺サミット開催、バスツアーを1回実施。		
平成30年度:	柘植歴史民俗資料館企画展を4回、公開講座「春日神社と壬生野惣荘」1回実施、資料館・学校での説明会を実施。		
令和元年度:	柘植歴史民俗資料館企画展(4回)を実施し、公開講座「春日神社の絵馬」、府中地区文化財ウォーク、市指定文化財旧上野市庁舎見学会、府中地区文化財講座を開催。普及啓発活動により文化財の保護の意識が高められた。		
令和2年度:	公開講座「春日神社と宮座行事」、府中地区文化財ウォーク・文化財講演会が新型コロナウイルス感染拡大防止の取り組みにより中止した。市庁舎での伊賀焼、府中地区での史跡伊賀国庁跡出土の考古資料を展示した。		
令和3年度:	春日神社拝殿解体修理に伴う第3回公開講座「春日神社と宮座行事」開催(7月16日)、阿保地区住民自治協議会主催第8回歴史・文化公開講座「阿保の歴史と文化財」(10月16日)、市内小学校の庁舎見学で校区の文化財を紹介。(6校)		
令和4年度:	大山田郷土資料館 第3回企画展「竹と暮らし」、第4回企画展「伊賀の中世城館阿波編」、中世城館現地説明会開催、春日神社拝殿解体修理に伴う現地見学会、府中地区文化財ウォーク、勝手神社神事踊ユネスコ登録記念講演会等を開催、市内小学校の庁舎見学で文化財保護の仕事や校区の文化財を紹介(3校)		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	文化財を身近に感じていただけるようなイベントを定期的実施し、情報発信を継続していきたい。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、講演会やウォークを中止としたが、人数を減らした活動など工夫が必要である。		

状況を示す写真や資料等

平成28年度



オオサンショウウオ観察会
平成28年8月20日

平成29年度



全国国分寺サミット
平成29年11月10・11日

平成30年度



柘植歴史民俗資料館
秋季企画展

令和元年度



柘植歴史民俗資料館
春季企画展

令和2年度



伊賀市役所での伊賀焼の展示



伊賀の史跡めぐりバス
ツアー平成28年11月26日



文化財めぐりバスツアー
平成29年11月25日



春日神社第1回公開講座
平成30年12月8日



旧上野市庁舎見学会
令和元年12月8日

令和3年度



春日神社第3回公開講座
令和3年7月16日



大山田郷土資料館
第1回企画展

令和4年度



大山田郷土資料館
第3回企画展



春日神社拝殿保存修理事業
現場見学会(8月27日)

評価軸④-4

文化財の保存又は活用に関する事項

		評価対象年度	令和4年度
項目		現在の状況	
埋蔵文化財の保護		<input type="checkbox"/> 実施済 <input checked="" type="checkbox"/> 実施中 <input type="checkbox"/> 未着手	

計画に記載している内容
 市においては、旧石器時代から近世に至るまでの周知の埋蔵文化財包蔵地が数多く確認されていて、その総数は2,700箇所を超える。周知の埋蔵文化財包蔵地における開発行為については、文化財保護法に基づく届出を受け、三重県教育委員会と調整を図りつつ、開発業者と協議を行い、できる限り埋蔵文化財の保護を図ることに努める。開発行為により遺構が失われる場合は、発掘調査を実施し、記録保存を図るとともに、その調査成果の公表を行う。また、出土遺物等についても適切な保管・管理を行うとともに、適宜資料館等において展示していく。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

平成28年度:	本発掘調査2件、試掘調査11件、立会調査7件。
平成29年度:	本発掘調査1件、試掘調査7件、立会調査9件。
平成30年度:	試掘調査5件、立会調査23件。
令和元年度:	試掘調査15件、立会調査16件。開発に対して立会・試掘の実施により埋蔵文化財の記録保存が図られた。
令和2年度:	本発掘調査1件、試掘調査3件、立会調査12件。開発に対して立会・試掘の実施により埋蔵文化財の記録保存が図られた。
令和3年度:	本発掘調査1件、試掘調査5件、立会調査10件。開発での調査の実施により、埋蔵文化財の記録保存が図られた。
令和4年度:	本発掘調査0件、試掘調査2件、立会調査30件。開発での調査の実施により、埋蔵文化財の記録保存が図られた。

進捗状況 ※計画年次との対応 実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり進捗している <input type="checkbox"/> 計画どおり進捗していない	景気の動向により照会や調査の件数に増減が見られるが、近年は太陽光発電施設設置や宅地開発等が増傾向にあり、調査担当者不足が課題となっている。
--	---

状況を示す写真や資料等

平成28年度



中山寺院跡調査

平成29年度



有井遺跡発掘調査

平成30年度



上野城跡試掘調査

令和元年度



上野城跡(成瀬平馬家長屋門) 試掘調査



野台城、野台古墳群発掘調査

令和3年度



西明寺遺跡発掘調査

令和2年度



上野城跡(成瀬平馬家屋敷跡)発掘調査

進捗評価シート

(様式1-5)

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル	評価対象年度	令和4年度
	年月日	掲載
空き家対策、住民と勉強会 三重・伊賀	令和4年5月10日	朝日新聞
ノハナショウブ紫の美 伊賀白鳳高生ら群落保存に協力	令和4年6月8日	毎日新聞
紫鮮やか咲き誇る 伊賀	令和4年6月8日	読売新聞
白鳳高生が下草刈り 観光スポットめざす 伊賀 ノハナショウブ	令和4年6月8日	朝日新聞
赤紫色 希少な美 伊賀でノハナショウブ見頃	令和4年6月8日	中日新聞
伊賀線まつり2022 17日に伊賀市で	令和4年7月15日	伊賀タウン情報ユー
全線開通100周年で17日に「伊賀線まつり」18日は記念列車運行	令和4年7月16日	中日新聞
伊賀から江戸深川 芭蕉の「二都物語」来月6日 魅力再発見の催し	令和4年7月20日	朝日新聞
楼車、鬼行列「通常目指す」上野天神祭 保存会長が強い決意「最大限の感染症対策する」	令和4年7月31日	毎日新聞
上野天神祭 3年ぶり楼車巡行へ 10月21日～23日 保存会方針	令和4年7月31日	読売新聞
伊賀・大山田郷土資料館 竹製品 生活支えた魅力 箕や伊賀傘、竹火縄など展示	令和4年7月30日	中日新聞
秋の「いがぶら」来月15日に開幕 今年度は季節ごとに 伊賀観光イベント	令和4年8月21日	朝日新聞
「いがぶら」で特別な秋を 事前予約制4テーマ33プログラム	令和4年9月1日	毎日新聞
食べて作ってついでに美容も15日から「伊賀ぶらり」イベント	令和4年9月2日	中日新聞
夏の観光客昨年の1.4倍 491万人 コロナ禍前の8割	令和4年9月8日	読売新聞
夏休みの観光施設客 コロナ禍前の8割に 主要20施設 前年の1.4日に回復	令和4年9月8日	朝日新聞
夏休みの県内観光客、コロナ前の8割止まり BA・5急拡大が影響か	令和4年9月9日	中日新聞
上野天神祭だんじり 3年ぶり巡行へ 東町「桐本」が一番くじ 伊賀	令和4年9月9日	伊賀タウン情報ユー
ダンジリ 3年ぶり 復活の見通し 上野天神祭 伝統文化継承へ思い熱く 菅原神社で籤取り 一番は東町	令和4年9月10日	朝日新聞
3年ぶり さあ上野天神祭 だんじり先頭は「桐本」	令和4年9月10日	中日新聞
楼車巡行待ってました 上野天神祭 通常開催へ「くじ取り式」	令和4年9月10日	読売新聞
巡行先頭は東町に 上野天神祭のダンジリ行事 3年ぶり籤取り 伊賀	令和4年9月10日	毎日新聞
夏休み観光入り込み客491万3032人 県内20施設、前年比36.3%増	令和4年9月11日	毎日新聞
9基のだんじり宵々山で誇らしく「ダンジリ行事」開幕	令和4年10月22日	朝日新聞
晴天に恵まれ ダンジリ行事 上野天神祭で3年ぶり あす本祭	令和4年10月22日	中日新聞
楼車装飾 いざ巡行へ 上野天神祭 きょう、あす鬼行列も	令和4年10月22日	読売新聞
堂々登場 歓声と熱気 きょう 4年ぶり足揃えの儀	令和4年10月22日	毎日新聞
「足揃えの儀」4年ぶり	令和4年10月23日	朝日新聞
上野天神祭2日目 足揃えの儀 鬼行列 久々の迫力	令和4年10月23日	中日新聞
鬼行列 泣き声3年ぶり 上野天神祭	令和4年10月23日	毎日新聞
来たひょうつき鬼 上野天神祭ダンジリ行事 足揃えの儀	令和4年10月23日	毎日新聞
行列壮大到「ダンジリ行事」最終日	令和4年10月24日	朝日新聞
だんじり9基 町彩る 伊賀「神幸祭」3年ぶり巡行	令和4年10月24日	中日新聞
城下町にぎわい戻る 楼車巡行3日間で10万人 上野天神祭・本祭	令和4年10月24日	読売新聞
楼車 巡行 華やかに 上野天神祭 最終日観客7万3000人	令和4年10月24日	毎日新聞
上野城天守 上棟式の映像	令和4年12月1日	読売新聞
風流踊 無形遺産 伊賀勝手神社の神事踊など41件	令和4年12月1日	中日新聞
伊賀・神事踊 無形文化遺産に登録「奉納、精いっぱい努める」保存会メンバー喜びと決意	令和4年12月1日	中日新聞
神事踊「守り続けたおかげ」伊賀・勝手神社 無形遺産登録決定	令和4年12月1日	読売新聞
風流踊 無形遺産に登録 ユネスコ郡上踊など41件	令和4年12月1日	読売新聞
風流踊 登録決定 ユネスコ無形文化遺産 24都府県の41件	令和4年12月1日	朝日新聞
「風流踊」無形遺産決定 ユネスコ念仏踊りなど41件	令和4年12月1日	毎日新聞
風流踊 無形遺産に決定 ユネスコ盆踊りなど24都道府県41件	令和4年12月1日	産経新聞
風流踊、無形遺産決定 伊賀・勝手神社の神事踊など ユネスコ登録 形式整った美しい踊り	令和4年12月1日	伊勢新聞
感無量の極み 勝手神社神事踊り含む「風流踊」ユネスコ無形文化遺産 保存会のメンバーら歓喜	令和4年12月2日	毎日新聞
登録祝い「次世代につなぐ」伊賀「勝手神社の神事踊」ユネスコ無形文化遺産に くす玉割りや鏡開き喜び新たな	令和4年12月5日	中日新聞
伊賀に二つ目「世界の宝」困難乗り越え山畑で式典 勝手神社の神事踊祝ユネスコ文化遺産	令和4年12月5日	毎日新聞
神事踊世界に発信だ 動画公開やパネル展 伊賀市教委きょうから	令和4年12月5日	読売新聞
伊賀の「勝手神社の神事踊」ユネスコ登録祝い式典	令和4年12月5日	朝日新聞
伊賀上野城 よみがえる上棟式の様子 1933年撮影16ミリフィルム発見 市教委貴重な史料 ユーチューブで公開	令和4年12月10日	中日新聞
春呼ぶ行事「修正会」大餅や鬼頭など奉納 伊賀・島ヶ原	令和4年12月11日	伊賀タウン情報ユー
「修正会」結願法をたいまつで締めくくる 伊賀・島ヶ原	令和5年2月12日	伊賀タウン情報ユー
たいまつに五穀豊穡を願う 伊賀観音寺で「修正会」勇壮な荒行大音響	令和5年2月14日	中日新聞
「勝手神社の神事踊」特徴知って 伊賀市教委来月11日に講演会	令和5年2月18日	中日新聞
19、21日、イガコレ2023伊賀のこれから、観光面から考える「忍者回廊」SPCが説明	令和5年3月8日	毎日新聞
講演や体験、食のプログラム、19・21日 上野市駅周辺	令和5年3月17日	伊賀タウン情報ユー

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

重点区域あるいは歴史的風致等において歴史的建造物等を積極的に活用しており、その事例が新聞等で報道された。新型コロナウイルス感染拡大に伴う祭礼の対応や今後の有り方などが取り上げられた。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画の進捗に影響あり
 □計画の進捗に影響なし

新型コロナウイルス感染拡大に伴い祭礼やイベント等が縮小・中止されたが、来年こそほどの気持ち伝わってきている。小規模あるいは従来と異なった形でのかわりにより、祭礼等へのかかわりの距離感が近くなったと考えられる。来年度も祭礼・イベント等の記事を幅広く収集していく。また、地域に密着したケーブルテレビ等の番組についても情報を収集していく。

状況を示す写真や資料等

評価軸⑥-1
その他(効果等)

		評価対象年度	令和4年度
		項目	
歴史まちづくりの効果			
定性的・定量的評価(自由記述)			
重点区域におけるイベント参加者数及び文化財等施設の入館者数の推移と各事業実施状況	平成28年度から平成30年度にかけて、上野城下町・島ヶ原・阿保区域とも入館者・参加者ともに増加・維持されていたが、令和元年度以降、新型コロナウイルス感染拡大の影響が出始め、令和2年度は激減した。令和3年度も新型コロナウイルス感染拡大の影響により、減少傾向が継続している。令和4年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響はまだあるが、海外渡航制限もなくなり、各種イベントも再開される中、回復傾向が見られる。		
指定・登録文化財及び歴史的形成建造物指定・候補の推移	(令和2年度)指定・登録文化財の件数は、前年比10%増、歴史的形成建造物指定・候補の件数は8%増となった。(令和3年度)指定・登録文化財の件数は、前年比1%増、歴史的形成建造物指定・候補の件数、前年比10%増である。(令和4年度)指定・登録文化財の件数は、前年比0.2%増、歴史的形成建造物指定・候補の件数、前年比2%増である。		
個別事業実施状況	(令和2年度)21事業のうち前年度まで終了した事業が4事業、実施中が12事業、未実施が5事業となっている。令和2年度、12事業のうち1事業が完了した。(令和3年度)23事業の内、前年度までに5事業が完了している。13事業を実施し、本年度4事業が完了した。継続は9事業である。未実施事業は5事業。(令和4年度)24事業のうち、前年度までに9事業完了しているが、13事業を実施し、本年度2事業が完了した。次年度以降の継続は11事業。未実施は2事業。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
■計画の進捗に影響あり □計画の進捗に影響なし	文化財等施設の入館者数及びイベント参加者数は新型コロナウイルス感染拡大に伴い激減しているが、現在実施している事業は進捗を図り、文化財や歴史的形成建造物の保護をさらに進める。		

状況を示す写真や資料等

文化財等施設の入館者数及びイベントの参加者数の推移

		令和5年2月31日現在							
重点区域名	施設名	区分	平成28年度(人)	平成29年度(人)	平成30年度(人)	令和元年度(人)	令和2年度(人)	令和3年度(人)	令和4年度(人)
上野城下町	伊賀文化産業城	城内	106,692	103,925	99,785	94,920	79,315	52,457	78,090
	伊賀流忍者博物館		193,813	195,496	180,432	152,192	60,164	53,547	93,101
	旧茶広堂		10,550	13,677	11,085	11,559	5,079	10,462	10,846
	芭蕉翁記念館		12,053	16,329	13,736	12,425	7,147	6,884	9,303
	だんじり金館		15,617	16,237	22,716	18,701	7,276	3,669	6,108
	伊賀伝統伝承館(くみひも)		—	—	19,193	16,845	10,274	9,313	11,422
	小計(A)		338,725	345,664	346,947	306,642	169,425	136,332	208,870
	入交家住宅	城下町	3,593	3,190	3,400	2,740	1,991	2,883	3,781
	芭蕉翁生家		6,508	7,963	14,053	12,425	工事中	工事中	3,891
	旧小田小学校本館		2,952	2,602	2,156	1,919	1,078	1,650	1,353
	赤井家住宅		21,876	20,252	19,073	19,024	6,697	10,533	16,582
	養虫庵		4,918	6,410	2,991	3,022	1,826	1,526	2,328
	小計(B)	39,847	40,417	41,673	39,130	11,597	16,592	27,935	
	新能	城内	1,000	1,100	1,000	1,200	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	225
	芭蕉祭		500	500	500	出張協定により中止	10	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	171
	伊賀上野NINJAフェスタ	城下町	40,000	36,000	32,000	33,000	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	6,000(10月9・10日)
	お城のまわりライトアップイベント		13,000	16,000	18,000	18,000	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	6,000
にぎわいフェスタ	56,000		65,000	50,000	50,000	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	4,500	
灯のpromenade/灯りと遊びの城下町	5,229		4,224	2,742	2,000	3,000	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	10,049(10月8～10日)	
上野天神祭	56,000		18,000	179,000	183,000	4,000	共同中止・祭典・鳥居下町で催し中止	100,000	
小計(C)	171,729	140,824	283,242	287,200	7,170	—	126,945		
合計(A+B+C)	550,301	526,905	671,862	632,972	188,192	142,391	363,750		
島ヶ原	竹灯りの宴	1,000	1,000	2,000	1,800	500(令和4年施行)中止	500(令和4年施行)中止	150	
	秋祭	2,000	2,000	2,000	1,000	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	1,500	
	修正会	2,500	2,500	2,500	2,000	500(新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止)	500(2日間・延期)中止	800	
合計	5,500	5,500	6,500	4,800	1,300	1,650	2,450		
阿保	伊賀市ミュージアム青山護国舎	—	—	—	—	2,686	2,991	1,983	
	秋祭	1,500	1,500	1,500	1,500	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	500	
	初瀬街道まつり	4,000	4,000	3,000	3,000	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止	1,000	
合計	6,500	6,500	4,500	1,500	2,686	2,991	3,483		

状況を示す写真や資料等

指定・登録文化財及び歴史的風致形成建造物指定・候補の推移

指定・登録文化財及び歴史的風致形成建造物		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
国指定	件数	43	44	44	44	44	44	44
県指定	件数	112	111	114	115	115	115	115
市指定	件数	284	285	286	286	287	288	289
計		439	440	444	445	446	447	448
国選択	件数	1	1	1	1	1	1	1
国登録	件数	45	48	48	48	52	52	52
市登録	件数	2	2	2	2	2	2	2
計		48	51	51	51	55	55	55
指定・登録文化財関係の合計		487	491	495	496	501	502	503
歴史的風致形成建造物	指定件数		20	20	24	27	33	36
	内訳	指定	6	6	7	7	7	7
		市指定	4	4	6	7	7	7
		国登録	10	10	11	11	12	13
		未指定	0	0	0	2	7	9
	所有	市・県	8	8	11	14	14	15
		法人	5	5	5	5	5	5
		会社・個人	7	7	8	8	14	16
		候補件数	7	7	6	8	5	7
	内訳	指定	1	1	0	0	0	0
		市指定	2	2	1	0	0	0
		国登録	2	2	1	1	1	0
		未指定	2	2	4	7	4	7
	所有	市	3	3	3	0	1	1
法人		0	0	0	0	0	1	
会社・個人		4	4	3	8	4	5	
歴史的風致形成建造物関係の合計		27	27	30	35	38	43	44

伊賀市まちづくりアンケート結果の推移

(31) 歴史・文化遺産 歴史や文化遺産が守られ、未来への引き継がれている。

調査年	2017	2018	2019	2020	2021
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
満足度（満足・やや満足）	59.6	53.0	58.8	67.2	63.5
満足	12.1	8.0	8.4	14.3	11.7
やや満足	47.5	45.0	50.4	52.9	51.8
やや不満	22.6	14.9	14.9	31.8	26.9
不満	5.9	4.2	3.0	12.2	8.8
わからない・関心がない	5.6	27.8	23.3	—	—
無回答	6.3	0.1	0.0	0.8	0.8
全体平均	47.9	35.5	36.2	51.9	52.6
回答数	922	849	948	845	939
順位	4	4	3	3	6

(31) 歴史・文化遺産 身近な歴史や文化財を守り、将来へ引き継げるよう努めている。

調査年	2017	2018	2019	2020	2021
	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年
参画度（あてはまる・少しあてはまる）	31.4	36.5	36.3	52.4	37.4
あてはまる	5.3	7.4	6.9	13.1	8.1
少しあてはまる	26.1	29.1	29.4	39.3	29.3
あまりあてはまらない	31.3	26.6	31.6	32.9	37.7
あてはまらない	24	26.8	22.8	13.5	24.0
意味が分からない・関心がない	6.7	10.1	9.3	—	—
無回答	6.6	0.0	0.0	1.2	1.0
全体平均	55.1	45.6	46.7	50.7	43.7
回答数	922	851.0	948.0	845.0	939.0
順位	29	27.0	27.0	21.0	24.0

評価対象年度 令和4年度

・法定協議会等におけるコメント

(コメントの概要)

- ・P4 景観重点区域にかかる地域との協議を近年実施したか。⇒島ヶ原地区・阿保地区では、これまでの協議で区域指定は困難との結論が出ている。しかし、地域の意見により協議を再開することは可能である。
- ・P15 空き家バンク事業について、物件登録数や物件成約数が増加し、伊賀上野城下町ホテルもコロナ禍にもかかわらず、順調に利用者が伸びている。空き家の解消と景観の保存が事業としてうまく進んでいる。グラフの成約件数に「延べ」が無いがよいが。⇒グラフの成約件数は、「延べ」ではなく「年度ごと」の推移であることを確認。
- ・P16 「西町やかかん」は、飲食・物販だけでなく、忍者変身処と伊賀忍者修行道場を実施している。内容に反映願いたい。令和4年度の活動を示す写真は、前年度と代り映えがしないので、掲載写真を工夫すること。⇒内容追記し、掲載写真を工夫する。
- ・P17 まち巡り拠点整備事業(成瀬平馬家長屋門)は完了したが、長屋門北側の屋敷跡では忍者体験施設を整備する「賑わい忍者回廊PFI事業」が実施されているので、事業との関りを記載すること。⇒賑わい忍者回廊PFI事業との関連性等を追記する。
- ・P18 修景助成事業について、2件写真が掲載されているが、「修理前」に対応する「修理後」の写真がないので掲載すること。また、修理内容を記載すること。⇒修理後の写真を掲載し、修理内容を追記する。
- ・P24 上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等事業(保存事業)にかかり、福居町の楼車幕修理は、令和3年度は前水引幕の復元新調、令和4年度は右水引幕の復元修理、令和5年度は左水引幕、令和6年度は後水引幕の復元修理を予定している。年度ごとの事業内容を確認すること。⇒事業内容を確認のうえ、修正する。
- ・P25 上野天神祭のダンジリ行事 民俗文化財伝承・活用等事業(活用事業)にかかり、上野西小学校3年生(120名)の2クラスを対象に、上野美術保存会が中心となって郷土学習として授業を実施しているので記載すること。⇒指摘内容を記載する。
- ・P26 大村神社例大祭 民俗文化時伝承・活用等事業にかかる文章、「餅巻き」を「餅撒き」に修正。⇒指摘内容を修正する。
- ・P28 文化財説明看板設置事業について、統一された形状や内容で取り組みとしてはよいが、時代を反映して多言語化を検討してはどうか。⇒設置看板においては多言語化対応できていないので、今後の課題として追記する。
- ・P34 埋蔵文化財の保護について、上野城跡(成瀬平馬家長屋門)調査とあるが、発掘調査または試掘調査のどちらか分かりづらい。⇒試掘調査であったので「試掘」と追記する。
- ・P.35 効果・影響等に関する報道について、複数の新聞社やその他報道機関に取り上げられており、周知の効果や興味関心が高いことが窺える。映像の記録やケーブルテレビの報道等のデータを保存することを検討されたい。⇒データ収集、保管について検討する。

(今後の対応方針)

- ・現行計画に記載された課題と事業、成果について整理する。
- ・関係各課と情報共有するとともに、今後の事業推進については、地域と協議しながら、取り組む。
- ・実施中の事業は、取り組みをさらに進め、着実な進捗を図る。
- ・未実施の事業は、地域と協議を行ない、事業の具体化を図る。
- ・コロナ禍が収束していく中で、民俗・伝統行事が再開されるようになってきているので、重点区域や風致区域等について行事を記録し、祭礼道具や用具、継承等について課題等を調査する。
- ・伊賀市は豊かな歴史と数多くの文化財を有しており、地域と協働しながら、さらなる情報発信に取り組む。
- ・重点区域の建造物調査をさらに進め、歴史的、文化的な価値を明らかにし、指定や登録といった保存と活用につながるよう取り組む。

(計画全体について(意見))

- ・本計画は7年目となった。事業完了しているもの、未着手のものなどを精査し、今後、2期計画の策定も含めて計画として発展させていくもの等、計画と事業の整理が必要。
- ・事業推進については、地域への情報共有と協議をお願いする。
- ・道路舗装事業など、事業実施後に経年劣化が見られるものもある。劣化箇所については、適切な時期に補修が必要と考える。
- ・重点区域には歴史的・文化的に価値の高い建造物がまだ多く所在している。指定や登録に課題は多いが、今後も記録や調査を進めてほしい。また、伊賀市は豊かな歴史と豊富な文化財があり、興味関心は高いので、さらに情報発信に努めてほしい。
- ・上野城下町区域には、歴史的に価値の高い建物や景観がこれまでの事業の実施により保持されてきている。これらの長年にわたる取り組みを継承しながら、これからも事業の取り組みを進めてほしい。
- ・上野城下町区域の上野天神祭のダンジリ行事について、地域としてはコロナ禍のなか、巡行やお囃子体験等の方法について、可能な限り工夫してきたと考えるが、今後も若年層への周知・啓発を継続して取り組むので協力をお願いする。
- ・島ヶ原地区観音寺の修正会が、国立歴史民俗博物館・特集展示「来訪神、姿とかたち—福の神も疫神も異界から—」に取り上げられ、地域住民で同館を訪問、見学した。民俗・伝統行事は地域、とくに若年層への周知・啓発が大切と考えている。地域として取り組むので協力をお願いする。
- ・阿保地区は、計画の残り期間が3年となるなか、位置付けられた事業がほとんど実施されていない現状がある。大きな事業の実施は現実的でないと考えてはいるが、宿場・街道案内板等設置事業については、具体化を強く要望する。